

### (3) 機関別認証評価の結果

## 機関別認証評価の結果

平成20年度運営諮問会議(H21.3.2)

独立行政法人大学評価・学位授与機構による平成19年度実施高等専門学校機関別認証評価の評価報告書に掲載された「優れた点」と『自己評価書』に記載した改善すべき点と対応

平成16年度より高専機構が大学評価・学位授与機構による機関別認証評価を受審し、本校は平成19年度に評価を受けた。

- ・評価機構による書類審査をうけるために『自己評価書』を作成し、平成19年6月に提出した。
- ・平成19年11月13日～15日に訪問調査を受け、施設調査、教職員・学生・卒業生に対する面接調査、『自己評価書』に関する調査が行われた。

以下は、平成19年度受審大学評価・学位授与機構による認証評価の『評価報告書』に掲載された「優れた点」である。

#### 基準3 教員及び教育支援者

##### 【優れた点】

- 教員の教育活動に関する定期的な評価を適切に実施するための取組として行われている、教務委員会が実施している学生による学級担任アンケートは、特色ある取組である。

#### 基準5 教育内容及び方法

##### 【優れた点】

〈準学士課程〉

- 準学士課程4、5年次において学修単位が導入されている授業科目では、課題名や時間数を記録する「自学自習課題シート」が導入され、自学自習の意識付けに効果的に活用されており、特色ある取組である。
- 「創造化学実験」では、学生が自ら実験計画を立案・実施するセルフプランニング実験による教育方法の工夫が行われており、学生自ら実験装置及び実験方法等について考える能力の育成が図られている。

### 〈専攻科課程〉

- 「問題解決グループ演習」では、ブレインストーミングやKJ法のほかに研究開発シミュレーション法などを取り入れながら、グループのメンバーで与えられた課題について議論し、解決策を立案していく過程を通じて創造性の育成に努めており、優れた教育方法の工夫が行われている。

### 基準6 教育の成果

#### 【優れた点】

- 卒業(修了)生の就職率(就職者数/就職希望者数)が高く、就職先は各専門分野の製造業や技術サービス業等で各学科・専攻の専門性が活かされる業種となっている。また、進学率(進学者数/進学希望者数)も極めて高く、進学先は高等専門学校専攻科をはじめ工学系の学部、研究科など各学科・専攻の専門分野・研究分野が活かされており、教育の目的に沿った成果や効果が十分に上がっている。

### 基準7 学生支援等

#### 【優れた点】

- 学習支援として、数学や物理の補習で上級生によるTAを取り入れていること、及び長期休業中の学習支援プログラムの実施、さらには学科の教員で構成されるアドバイザーによる学習の相談・指導体制は、特色ある取組である。

### 基準9 教育の質の向上及び改善のためのシステム

#### 【優れた点】

- 学校運営重点目標及び教育改善方策に基づいて、学科・委員会・センターごとに、あるいは各学年・各学級、そして各教員が目標や計画を立て実行し、年度末に自己点検・評価をしており、改善を図るシステムが多面的に整備され、学校内の各層に浸透し機能している。
- 授業公開をはじめとするファカルティ・ディベロップメントの取組は、教員の自主的な活動としてだけでなく各学科や各委員会で組織的にも行われ、その結果、教育の質の向上や授業改善に結び付いている。
- 準学士課程・専攻科課程ともに、授業アンケート、勉学アンケート、学級担任アンケート、学生会や寮生会代表との懇談、各学科での学生と教員との懇談等を通して、学生の意見を聴取するための取組が組織的に行われている。

### 選択的評価事項A 研究活動の状況

#### 【優れた点】

- 高度技術教育研究センターを拠点とした研究支援体制の下で、目的に照らした研究活動が行われており、知的財産関連では取得したノウハウについて製品が発売されるなど、特色ある取組が行われている。

### 選択的評価事項B 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況

#### 【優れた点】

- 文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)―地域活性化への貢献(地元型)」に採択された「地域連携プロジェクト型のつくり活動―工都新居浜の活性化プラン―」に基づく学生参加型出前講座などの実施や「現代GPものづくり教育フォーラム」の開催をはじめとし、独立行政法人科学技術振興機構のサイエンス・パートナーシップ・プロジェクトの教員研修など、目的に照らした特色ある取組がなされている。

平成19年度受審大学評価・学位授与機構による認証評価における自己評価書に掲載した改善を要する点およびその対応

#### (基準1) 高等専門学校の目的

学生の教育目標に対する認知度が低く、改善を要する。

(改善・対応)

すべての教室に教育目標を記載したパネルを掲示して、認知度を向上させる取り組みを行った。その結果は、「勉強アンケート」により確認する予定である。

#### (基準2) 教育組織(実施体制)

一般科目と専門科目を担当する教員間の連携は十分に行われているとは言えず、改善を要する。

#### (基準4) 学生の受入

準学士課程の「入学者受入方針」には求める学生像しか明記されておらず、選考方法は記載されているが、入学者選抜の基本方針は明文化されていない。

また、入学者受入方針に沿った選抜が行われていることの検証方法は、入学後の追跡調査の実態などにより改善していく必要がある。

(改善・対応)

学生募集要項およびウェブサイトに入学者選抜の基本方針を明記した。

#### (基準5) 教育内容及び方法

専攻科課程の創造性を育む授業について、生物応用化学専攻では適切な科目の設定が遅れている。

#### (基準6) 教育の成果

学生自身が行う教育目標の達成度評価は、適切な方法で実施されているとはいえ、改善が必要である。